

## SDGs ERK on ICE 2021 競技規則書

### 1 競技概要

#### 1.1 競技クラス

競技クラスは以下の3クラスとする。

- A) ビギナークラス（上限20名）
- B) エキスパートクラス（上限20名）
- C) マスタークラス（上限8チーム16名）

クラス分けの定義は下表のとおりとする。

クラス	参加基準
ビギナー	カート運転未経験者 または カート運転に自信のない者
エキスパート	カートコースでの走行経験者 または 公式カートレース出場者
マスター	各種モータースポーツ出場経験あり または 相応の運転テクニックを持つと主催者が判断した者 および 前述の参加基準を満たしたドライバーが、任意で選ぶドライバー1名との計2名

\*各クラスとも身長150cm以上であること

#### 1.2 競技内容

1周約100mのオーバルコースを、スパイクタイヤを履いた4台の電気レーシングカート（以下ERK）で走行する。

それぞれのクラスの競技は下表のとおりとする。

クラス	競技内容
ビギナー	先導車両の先導のもとでコースを2周したのち、指定のスターティンググリッドに停止。フラッグの合図により一斉にスタートし、1週のレースにて順位を決定する。
エキスパート	先導車両の先導のもとでコースを1周したのち、先導車両がコース外へ退避する。その後、フォーメーションラップとして1周走行したのち、フラッグの合図によりローリングスタート。3週のレースにて順位を決定する。
マスター	参加基準を満たしたドライバーが、任意で選ぶドライバー1名との計2名（ERK 2台）を1チームとし、2チーム同時に走行するチームパシュートとする。周回数は3周とし、2周目に必ずチーム内での先頭交代をしなければならない。3周目のゴールラインを、先に2台とも超えたチームを勝者とする。

## 2 使用車両

大会事務局が用意する。各競技にて参加者が乗車する車両は、くじ引きにて決定する。

## 3 ドライバー装備品

- ヘルメット

フルフェイスタイプまたはジェットタイプ（シールド付き）を装着のこと  
（共にJIS・SNELL・MFJ等の規格適合品を強く推奨する） \*注1

- グローブ

確実に手全体を保護できるものであること、軍手は不可とする \*注2  
（レーシンググローブを推奨する）

- シューズ

運転操作に適した靴であり、少なくともかかとが保護されるものであること  
（レーシングシューズを推奨する）

- 服装

長袖、長ズボンであり、肌が露出するものでないこと  
（難燃素材のもの、またはレーシングスーツを推奨する）

また、スケートリンクというコース特性上、レインウェアの装着を強く推奨する

\*注1 ビギナークラス参加者でヘルメットを所有していない場合は、主催者からの貸出も可

\*注2 滑り止めのある軍手の使用は可とする

## 4 ビギナークラス競技規則

参加者を4名ずつの5グループに分け、各グループにて1.2（競技内容）で規定されたレースを実施する。

各グループの1位をそれぞれ勝者として表彰するが、グループ勝者同士の順位決定戦は実施しない。その他規則の詳細は以下のとおりとする。

### 4.1 グループ分け

主催者が決定する。

### 4.2 乗車車両およびスターティンググリッドの決定

参加受付時にくじ引きにて決定する。

スターティンググリッドは、事前に主催者により車両とひも付けされる。よって、乗車車両をくじ引きにて決定すると同時に、スターティンググリッドも決定となる。

#### 4.3 スタート進行

各競技者が指定の車両に乗車し、先導車両の後方に指定の順序で隊列を作り2周走行する。その後、車両によって指定された2か所のスタートラインにあるスターティンググリッドにて停止する。スターターによるスタートフラッグ振り下ろしおよびホイッスル（短音1回）の合図にて全車一斉にスタートする。

スタート位置は、観客席側とその反対側の2箇所に設ける。

#### 4.4 競技の終了

勝者が決定した時点で競技終了とし、チェッカーフラッグ振動およびホイッスル（長音）にて合図する。競技終了の合図があった場合は、競技者はフィニッシュライン通過前であっても、安全に減速し、オフィシャルに指定された場所に車両を停車させなければならない。

#### 4.5 勝者の決定

最も早く指定のフィニッシュラインを超えた競技者を勝者とする。

1位以外の順位はつけない。

#### 4.6 リタイヤ・失格（ペナルティ）

以下の項目に該当すると認められた場合は、リタイヤとみなす、または失格処分を適用することがある。

- リタイヤとみなす場合

クラッシュその他の原因により、自力での走行を継続できないと判断されたとき  
競技終了前に、競技者が車両から降りたとき

- 失格処分を適用する場合

ジャンプスタート（フライング）があったと認められた  
他車と衝突し、他車を強引に追い抜いた  
他車と衝突し、他車をクラッシュさせた  
コースをショートカットして走行した  
コースを逆走した

### 5 エキスパートクラス競技規則

参加者を4名ずつの5グループに分け、各グループにて1.2（競技内容）で規定されたレースを実施する。

各グループの1位をそれぞれ勝者として表彰するが、グループ勝者同士の順位決定戦は実施しない。その他規則の詳細は以下のとおりとする。

#### 5.1 グループ分け

主催者が決定する。

## 5.2 乗車車両およびスターティンググリッドの決定

参加受付時にくじ引きにて決定する。

スターティンググリッドは、事前に主催者により車両とひも付けされる。よって、乗車車両をくじ引きにて決定すると同時に、スターティンググリッドも決定となる。

## 5.3 スタート進行

各競技者が指定の車両に乗車する。先導車両の後方に指定の順序で隊列を作り1周走行したのち、先導車両がコース外に退去する。その後、イン側先頭車両をペースセッターとしてフォーメーションラップを1周行う。隊列が整っていると判断できた場合は、スターターによるスタートフラッグ振動およびホイッスル（短音1回）の合図にてローリングスタートでレースを開始する。隊列が整わない場合は、フォーメーションラップを1周追加するとともに、競技周回数を1周減算する。

## 5.4 競技の終了

勝者が決定した時点で競技終了とし、チェッカーフラッグ振動およびホイッスル（長音）にて合図する。競技終了の合図があった場合は、競技者はフィニッシュライン通過前であっても、安全に減速し、オフィシャルに指定された場所に車両を停車させなければならない。

## 5.5 勝者の決定

最も早くフィニッシュラインを超えた競技者を勝者とする。

1位以外の順位はつけない。

## 5.6 リタイヤ・失格（ペナルティ）

以下の項目に該当すると認められた場合は、リタイヤとみなす、または失格処分を適用することがある。

### ・リタイヤとみなす場合

クラッシュその他の原因により、自力での走行を継続できないと判断されたとき  
競技終了前に、競技者が車両から降りたとき

### ・失格処分を適用する場合

フォーメーションラップにおいて、故意に隊列を乱したと認められた  
ジャンプスタート（フライング）があったと認められた  
他車と衝突し、他車を強引に追い抜いた  
他車と衝突し、他車をクラッシュさせた  
コースをショートカットして走行した  
コースを逆走した

## 6 マスタークラス競技規則

参加8チームによるトーナメント戦とし、1.2（競技内容）で規定されたレースを実施する。優勝及び準優勝チームを表彰し、3位決定戦および敗者復活戦は実施しない。その他規則の詳細は以下のとおりとする。

### 6.1 トーナメント配置

参加受付時にくじ引きにて決定する。

### 6.2 乗車車両およびスタート位置の決定

車両を2台1セット（チーム）とし、各対戦前にくじ引きにて決定する。

スタート位置は、事前に主催者により車両セットとひも付けされる。よって、乗車車両セットをくじ引きにて決定すると同時に、スタート位置も決定となる。

スタート位置は、観客席側とその反対側の2箇所に設ける。

### 6.3 スタート進行

各競技者が指定の車両に乗車し、それぞれ指定されたスタート位置へ移動し停止する。チームの2台は横並びでスタート位置に付かなければならない。スターターによるスタートフラッグ振り下ろしおよびホイッスル（短音1回）の合図にて全車一斉にスタートする。

### 6.4 ミススタート

ジャンプスタート（フライング）などによりミススタートとなった場合は、赤旗振動およびホイッスル（単音2回）を鳴らし合図をする。競技者は減速しオフィシャルの指示に従い、スタート位置に戻らなければならない。ミススタートは2回まで許容されるが、3回目もミススタートとなった場合、その原因を作ったチームの2台はスタートラインの5m後方からスタートしなければならない。4回目以降はミススタートをカウントしないが、悪質なジャンプスタート等は失格処分とする場合がある。

### 6.5 競技の終了

勝者が決定した時点で競技終了とし、チェッカーフラッグ振動およびホイッスル（長音）にて合図する。競技終了の合図があった場合は、競技者はフィニッシュライン通過前であっても、安全に減速し、オフィシャルに指定された場所に車両を停車させなければならない。

### 6.6 勝者の決定

指定のフィニッシュラインを、2台とも超えるのが早かったチームを勝者とする。

また、どちらか一方のチームがリタイアまたは失格処分に該当した場合、その時点で該当していない他方のチームを勝者とする。

## 6.7 リタイヤ・失格（ペナルティ）

以下の項目に該当すると認められた場合は、リタイヤとみなす、または失格処分を適用することがある。

- リタイヤとみなす場合
  - クラッシュその他の原因により、自力での走行を継続できないと判断されたとき
  - 競技終了前に、競技者が車両から降りたとき
- 失格処分を適用する場合
  - 他車と衝突し、他車を強引に追い抜いた
  - 他車と衝突し、他車をクラッシュさせた
  - コースをショートカットして走行した
  - コースを逆走した
  - 2周目にチーム内の先頭交代を行わなかった

## 7 ドライバーサイン義務

全てのドライバーは、状況に応じて以下の行動をとらなければならない。

- 何らかの原因でコース上に停止した
  - 他車へのアピールのため、両手を高く上げて振ること
  - その後、自力での復帰が可能であれば、周囲の安全を確認したうえで再スタートすること
- トラブル等により低速で走行している
  - 他車へのアピールのため、片手を高く上げながら走行すること

## 8 競技への参加

各競技への参加方法および参加費は以下のとおりとする

- 参加方法
  - 特設ホームページの申し込みフォームに必要事項を記入し申し込むこと
- 参加費
  - 下表のとおりとする

参加クラス	競技参加費（税込み）	上限人数（チーム数）
ビギナー	¥3,000/1名	20名まで
エキスパート	¥5,000/1名	20名まで
マスター	¥30,000/1チーム（2名）	8チーム（16名）まで

※いずれのクラスも、定員に達した時点で締め切る

\*本競技規則書は、2021年8月16日現在のものです。変更になる場合があります。